

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	料金徴収事業					担当部	上下水道部	
	会計区分	水道事業会計			事業類型	一般	担当課	料金課	
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	収納係	
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		24 上水道		3 健全な経営を維持します		
		副目的	24-1						
	予算区分	款	1	項	1	目	3	大	中
	根拠法令・個別計画	小牧市水道事業会計規程、小牧市水道事業給水条例、小牧市水道事業給水条例施行規則							
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	口座振替を推進し、料金収入の安定確保を図る。							
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <p>料金収入の安定対策として、新規開栓者(使用者)に対し、最初の納付書送付時に「口座振替依頼書」及び「返信用封筒」を同封し、発送している。また、銀行等への直接納付者に対して年1回、「口座振替依頼書」及び「返信用封筒」を同封して一斉発送している。そのほか「口座振替依頼書」を料金課で渡している。</p> <p>3期以上滞納している使用者を対象に年10回の給水停止や夏と冬の年2回の一斉徴収を実施している。また、職員や徴収員が、随時電話催告や訪宅を行うことで、収納率の向上を図っている。</p> <p>上記以外の業務内容</p> <p>徴収事務: 納付書・督促状・催告書・口座振替不能納付書等の発送、滞納整理・給水停止・不納欠損等事務</p> <p>検針事務: 量水器の検針・新設・変更入力、検針前後の事務処理、水道の中止・開栓業務</p> <p>集合住宅集中検針契約・共同住宅共用申請契約等事務等</p> <p>一般事務: 口座振替入力・還付・充当・漏水軽減事務、廃止・使用者異動届・譲渡届入力、窓口納付収納データ消込・コンビニ収納データ取込送付等</p> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <p>業務費108,144-(給料23,460+手当等12,374+賃金10,195+法定福利費8,499)=53,616(単位:千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳</p> <p>業務費122,004-(給料23,866+手当等12,873+賃金12,358+法定福利費9,234)=63,673(単位:千円)</p>							
	受益者負担	無							

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	53,626	52,216	53,616	63,673	
		正職員	従事者数	人	6.00	6.00	6.00	6.00
			人件費	千円	31,560	31,560	31,560	31,560
		その他職員	従事者数	人	9.00	9.00	9.00	9.00
			人件費	千円	13,930	13,279	14,070	16,523
	費用合計	千円	99,116	97,055	99,246	111,756		
対前年比	%			97.9	102.2	112.6		
財源	一般財源	千円	99,116	97,055	99,246	111,756		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	口座振替推進用依頼送付	回	目標	—	1	1
実績				1	1	1	
新規開栓者への口座振替依頼書の送付		件	目標	—	4,300	4,300	4,300
			実績	4,235	4,140	4,038	
市内の直納納付書送付者に、年1回、口座振替依頼書の送付		件	目標	—	9,000	10,000	10,000
			実績	8,901	9,603	9,770	
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
水道料金の口座振替率	%	目標	76	76	76	76	
		実績	75	75	75		
水道料金の収納率(3月末)	%	目標	90	90	90	91	
		実績	89	89	90		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	口座振替率、収納率について、おおむね目標を達成することができた。				
		事業実施における課題	口座振替率、収納率ともここ数年横ばいである。収納率を向上していくためには、口座振替が有効であることから、水道料金の納付については、1回目は現金による納付、2回目以降の納付から口座振替が可能となることから、引き続き、新規及び納付書払いのお客様に対する口座振替依頼の周知を推進することが課題である。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	口座振替は、他の公共事業でも広く行われており、銀行及びコンビニでの直接納付と並んで水道料金の安定した収納の手段である。口座振替推進を廃止すると、納入機会の選択肢が減り市民(お客様)の利便性が低下するとともに、水道事業として収納率の低下となる。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	年10回の給水停止や年2回の滞納整理の時期に、給水停止者に直接会う機会があるので、「口座振替依頼書」及び「返信用封筒」を渡すようにする。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	現行の方法で理解が得られており、一定の効果があると考えられる。口座振替率は横ばいであるが、直納納付から口座振替に切り替えるお客さまの件数は増加傾向にあるので、今後も口座振替を推進し、料金収入の安定確保を図りたい。					
	27年度以降の改善案	開栓申込の受付時点やホームページ等でも、口座振替のPRを推進する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。